

# 支援プログラム

## きっずサポートてんまの理念

子どもが、その子らしく成長し、豊かな生活を送るため、土台づくりとしての支援  
気づきの段階から、将来に繋いでいく支援  
一人ひとりに対する丁寧で、根拠ある支援  
自尊心・主体性を育んでいく支援

## 療育基本指針

一人ひとりの子どもに対して、きめ細かい療育を通じて、感性を育みます。  
自分から行動し、周囲の人達と分かち合うこと、表現できるようになることを、目指します。  
将来を見据え、子どもに合った支援のあり方を、子どもや保護者、支援者と一緒に考えていきます。

## 児童発達支援：利用日と時間

月～金曜日（土日祝祭日を除く）

基準時間(5時間) 9:00～14:00（5時間を超える時は延長対応）

(6時間) ~15:00（延長：1号・2号認定児）

(7時間) ~16:00（延長：2号認定児）

## 支援内容

発達支援5領域

健康・生活・健康状態の把握 ・健康増進 ・基本的生活スキルの獲得 ・生活環境を整える

運動・感覚・姿勢保持 ・運動や動作の改善・習得 ・移動能力の向上 ・遊びを通しての感覚の活用  
・感覚の偏りに対する環境調整 ・五感の活用

認知・行動・数量・大小・色等の理解 ・時間や空間の概念等の理解 ・認知情報を処理する支援

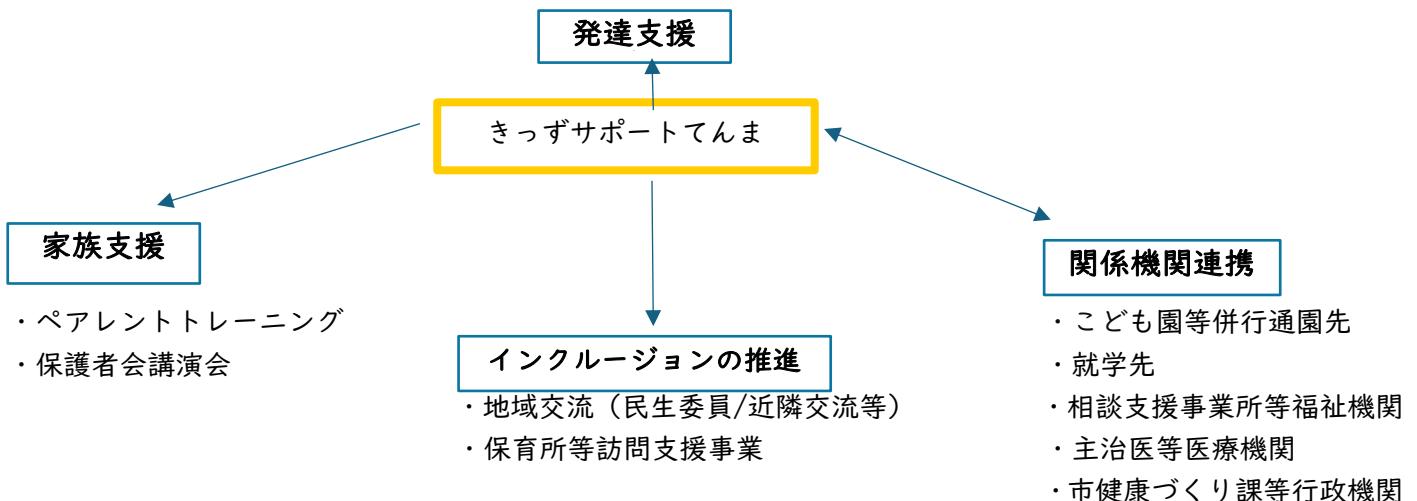
言語・コミュニケーション・具体的な事物や体験と言葉の意味の結び付け ・言葉の習得や自発的な発声の促し  
・相手の意図の理解 ・指さし/身振り・サインを用いた理解と意思の伝達 ・絵カード/字  
/記号の活用 ・話し言葉・文字・記号を用いた理解 ・自分の思いや考えの伝達

人間関係・社会性 ・人との関係の意識化 ・周囲の人と安定した関係づくり ・他者の動きの模倣によ  
る社会性や対人関係の芽生えの支援 ・ごっこ遊びなどを通した社会性の発達支援  
・一人遊びから共同遊び等へ ・出来ること出来ないことの理解と援助要請の支援  
・気持ちや感情の理解と調整 ・手順やルールの理解 ・遊びや集団生活に参加のための支援

5領域との関連性(①健康・生活②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション⑤人間関係・社会性)

ねらい・内容		活動例	発達支援5領域
健康・生活	食事・排泄・着脱などの日常生活の動作スキルの獲得、身辺自立への支援 日常生活の応用的な動作の獲得を目指した支援 個々に合わせたスケジュール(絵カードなどの視覚支援)を示し、自ら判断し・理解、行動していく力を育む支援	・挨拶・カバン携行・荷物管理・身だしなみ・衛生意識・体調管理、気候と衣服・排泄・着脱・給食・おやつ・午睡	③健康・生活 ③認知・行動
運動・感覚	体を大きく動かす遊び(サークル活動・遊具遊び・散歩など)粗大運動を行なう 指先の巧緻性を育む遊び(制作・身辺自立や食事動作などの日常生活動作)を通し、微細運動を行う ボディイメージをつけ、身体の使い方を知る 見本を見て同じように作ること・自己表現すること 目的を持ち作ること 出来上がりを喜ぶ 見せたい気持ちを育む 音楽に合わせて(動く・止まる・跳ねる等)行動する。 様々な感覚の発達を促す感覚刺激遊びなどを行い、感覚統合を図る 手で確かめ触った感覚、硬さや温度・触った時の違ひなどを感じ取る。	・粗大運動遊具(トランポリン/ボールプール/三輪車等)・運動サークル(平均台・トンネル等)・散歩・公園(滑り台、ブランコ等)・操作(玩具や道具)・体操・水遊び/粘土等の感覚遊び・製作活動(シール・糊・描画・折り紙・はさみ等)	②運動・感覚 ③認知・行動 ①健康・生活 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
認知・行動	見る/聞くトレーニングや活動全般で視聴覚情報を用いた支援を通じ、認知発達に働きかけ。 発達の評価をもとに、1人1人の発達課題に合わせた教材を選定し、個別指導を実施 様々な場面で感じ取ったことや体験したことを、支援者や友達と言葉や全体での伝え合いや共感から、概念の形成・定着へと繋げる 発達や興味・関心に適した活動を設定し、記憶・想起・判断等の機能の促進 日課に沿った活動の遂行で、見通しを持ち自信を持ち行動する力を育む	・おもちゃ遊び・関わり遊び・ごっこ遊び・机上課題(1対1個別課題)道具の操作・製作・描画・絵本・プリント・ゲーム等)・日課(時間)の把握・ルール理解・指示行動・順番交代等・行事食やおやつ	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
言語・コミュニケーション	身振り・絵カード・タブレット等で、言葉以外のコミュニケーション支援 要求や依頼(助けて/手伝って)を伝える言葉、対人の関わり言葉、自分の気持ち(感情)の表現方法など 絵本などの言葉・と生活体験の言葉をリンク 絵本の登場人物やキャラクター等のイメージを活用した遊びの展開 イメージを拡げ、言葉を育んでいく遊びや小集団療育 言葉を聞き分ける 絵を見分ける 知っている事と結び付けて 考える	・挨拶・動作や表情の読み取り・語彙を増やす/発話モデルの模倣・会話・言葉のキャッチボール/質問や説明/気持ちや行動の言語化等・言葉遊びゲーム/絵本	④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性 ③認知・行動
人間関係・社会性	遊びの発達段階に応じ、他者との関わり方をステップアップし、集団適応力を支援 小集団活動や遊びを通して、ルールや約束、楽しい対人交流を支援 小さな集団活動や個別の指導を通じて行うソーシャルスキルトレーニングで、対人スキルや社会性の定着化を図る 見通しをもち、イメージを拡げる	・挨拶・日課(活動)の遂行、気持ちや行動の切り替え交代あそび、順番あそび、仲間あそび、ルールの理解と定着、指示行動、お集まりの会・ゲーム SST	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性 ③認知・行動

## 地域支援・地域連携



## 家族支援

- ・子育て支援とし、日頃からコミュニケーションを図る。相談・情報提供や情報を提供
- ・ペアレントトレーニングを実施し、子どもへのより良い関わり方を学ぶ機会を提供
- ・保護者会講演会を実施し、特性の理解や保護者同士の交流を図る
- ・保護者の就労・レスパイト・兄弟児対応等に係る支援としての延長支援の提供

## 行事の提供

- ・近隣散歩・夏の水遊び・お誕生日会・季節のイベント・てんま修了お別れ会等

## 関係機関連携

利用児が併用する園や各関係機関等と、必要に応じ、タイムリーに情報共有や連絡調整等の連携を実施

## インクルージョン

障害があっても等への入園支援・療育との併行通園・就学支援  
保育所等訪問支援の実施  
地域との交流の機会を持つ（民生委員/児童委員や近隣住民との交流等）

## 研修

療育の質や支援力の向上を目的に、基礎/専門的研修を行い、多様化/複雑化する発達課題に対応する人材育成

- ・職場内研修（発達障害研修・感染症対策/BCP訓練/権利擁護 - 虐待防止/身体拘束禁止 - /安全等の研修）
- ・職場外研修（行政や専門機関による研修/発達障害のための専門研修 - TEACCH/PECS等 - ）